

平成30年度 上市高等学校アクションプラン 年度末評価 - 3 -

① 重点項目	進路支援		
② 重点課題	生徒の主体性を引き出すための情報提供と進路指導		
③ 現 状	<ul style="list-style-type: none"> 進路を決めかねている生徒や、明確な進路目標を持っていても自主的な学習行動に至らない生徒が見られる。 県内外進路研修、進路体験講座など多くの進路学習が行われているが、生徒は受動的であり、個々の活動を系統的に生かし、進路意識を高めていくことが苦手である。 		
④ 達成目標	①外部模擬試験や校内課題テスト等の結果を精査し、各学年で進路検討会を実施し、個々の進路指導に反映させる。	②学年末までに2年次生徒全員の進路目標を決定させる。	③生徒の進路希望を実現させる。
	生徒個々の適性や目標を明確にし、より良い進路指導を行うため、検討会を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 進学希望者は具体的な学校名が挙がる。 就職希望者は就職への意識が固まる。 	<ul style="list-style-type: none"> 進学希望生徒 第一志望校合格率 80%以上 就職希望生徒 就職内定率 100%
⑤ 方 策	<ul style="list-style-type: none"> 進路体験講座などでの上級学校の講義を通じて、将来像の姿をイメージさせる。 「県内外進路研修」や「インターンシップ」、「卒業生に聴く会」を通じて上級学校や職場の雰囲気に触れさせ、自己理解の深化と進路・職業意識の向上を図る。 生徒の多様な進路希望に対応するため、入試動向や求人状況の研究を深め、基礎学力の定着や資格取得ができるように面接指導の充実を図る。 特別授業や補習を綿密に計画し、個々の生徒の目標達成に必要な基礎学力の向上を図る。 外部模擬試験や校内課題テスト等の成績データを精査し、各学年検討会を実施することで、分野選択の指導や教科指導、過去の成績と可否との相関関係から進学指導（特に大学や看護学校）に活用する。 		
⑥ 達成度	3学年は7月に検討会を実施。 1,2学年は12月に実施。 学年内での進路検討会は実施したが、1,2学年において保護者会などへの活用が出来なかった。	進学希望者106名、就職希望者48名となっている。 進学希望者は、自分の目指す学校がある程度決まっているが、就職希望者は、まだまだ具体的な職種の希望や意識の高まりが感じられない。	<ul style="list-style-type: none"> 進学希望生徒 第一志望校合格率 88.4% (富山県立大学に4名が合格) 就職希望生徒の就職内定率 98%(56人中55人内定)
⑦ 具体的な取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 1 学年 <ul style="list-style-type: none"> 5月 進路ガイダンス [参加希望者] 7月 県内進路研修 (1日) [全員]・一日看護体験 [希望者] 10月 職場見学 (上市町の企業10社) [全員]・・・新企画 1月 進路講話 [全員]・進路ガイダンス (職業別講座) [全員] 3月 進路体験フェア (2学年と合同) [全員] 2 学年 <ul style="list-style-type: none"> 5月 進路ガイダンス [参加希望者] 7月 県外進路研修 関西方面 (2泊3日) [全員]・一日看護体験 [希望者] 7,8月 インターンシップ [59名参加] 11月 進路ガイダンス (3回) [全員] 1月 進路ガイダンス (進学は分野別、就職は業種別) [全員] 3月 卒業生に聴く会・進路体験フェア [全員] 3 学年 <ul style="list-style-type: none"> 5月 進路ガイダンス [全員]・志望理由の書き方講座 (2回) [進学]・面接指導 (1回) [就職] 6月 面接マナー講座 (1回) [進学]・面接指導 (2回) [就職] 7月 就職ガイダンス・一日看護体験 [希望者] 8,9月 P T Aによる就職面接 (8,9月に1回ずつ実施) 1月 大学入試センター試験 [17名受験] ※6月から国公立大学進学希望者中心に教科別指導を実施		
⑧ 評 価	A	C	B
⑨ 学校評議員の意見	<ul style="list-style-type: none"> 今後も、町や企業組織などと協議、協力して事業を円滑に進めればよい。 P T Aの方から、保護者が働いている企業の話聞かせてあげたらよいのではないかと。 就職前のガイダンスは、卒業生の先輩の体験を聞くことは有効である。 		
⑩ 次年度以降に向けての課題	<ul style="list-style-type: none"> 進路指導部と各学年が、もっと密に連携を取る必要がある。 特に就職への意識を高めるため、学年全体に職業について知る機会を設け、職場見学やインターンシップへの参加へと繋げ、より良い企業選択ができるように教職員全体で指導する。 5月に各分野に関連した企業・事業所を知る機会として、ハッピー上市会協力のもと、本校で企業(20社程)側から事業や仕事内容の説明、必要な適性などを生徒が企業のブースを回って話を聞く計画をしている。 進路検討会から進路指導へ具体的に繋げるため、活用法を検討する。 		

(評価基準 A: 達成した B: ほぼ達成した C: 現状のまま D: 後退した)